

研推だより No.16

令和5年
9月5日
研究推進部

2学期が始まりました。今週から本格始動ということで、私たちもスイッチを入れなおして頑張っていくましよう。でも最初に張り切りすぎて途中でガス欠…となるとつらいので、職員室や放課後の時間などゆつくりできる時間を大切にして、無理しすぎないことも必要だと思います。まだまだ暑い日が続きますし、健康第一でいきましょう！

さて、先日の研究全体会では**基調提案の第1次案**を先生方に再度見ていただきました。お忙しい中御協力ありがとうございました。7月の全体会でも松田先生より紹介していただいていたので、大まかな内容はある程度頭に入った状態で聞いていただけたのではないのでしょうか。先生方から「もっとこうの方がいいかも」「こういう準備が必要だとわかった」というように、**提案を確認することで私たちの研究がどのような研究なのか、そして今後、どのような準備が必要なのか再確認することができた**と思います。

まずは10月のプレ発表に向けて、研究推進部でも準備を進めていきます。先生方も、各分科会での提案内容をしっかりと話し合ってください、ご準備をお願いします。何か不明な点等ありましたら、いつでもお寄せください。

以下、全体会の記録です。ご確認ください。

1. 第4回研究全体会 報告

1. 校長先生からのお話

勝負の2学期になると思うので、先生方どうぞよろしくお願ひします。**寛先生の実践を、夏休みに市の研修会で発表**した。とても良い発表だったと聞いている。実践したことを基に伝えることに説得力があるのかなと思った。2学期もみんな実践し、一つ一つ積み上げていきましょう。

2. 事務連絡 I (研究主任:中島)

①今日の活動と目的の確認

- ・足りないところなどをみんなで確認する。
- ・分科会で2学期やることの確認→見通しを持つ

②プレ発表の確認

- ・10月16日(月) 13:40~16:00
- ・基調提案→分科会提案→全体協議

※本番についての確認

③講師について

- ・大川浩平先生(Sky株式会社・学校ICT活用コンサルタント・・・教師経験がある)
- ・シンポジウム・・・みんなで討論していく(司会・パネリスト・参会者)

3 研究発表会「基調提案」の提案

①

プレゼン案提案(基調提案について)・・・中島先生・松田先生中心に行う
→パワーポイント参照

3 協議(近くの先生方と)

	Aグループ(林先生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャッチーなコピーを考えるのが難しい。しかし、このキャッチコピーがとても大切になる。参会者にとって分科会について分かりやすくなるのでは。 →子供たちがつぶやいた中から、作るのがよいというアドバイス（中島先生から） 松田先生案・・・①分科会(心が動きだす情報の提示)、②分科会(操作による気付き)など、とても分かりやすい ・ 公開授業をする際に、どの分科会か意識しながら授業準備をすることや意識することが大切。
	Bグループ(山岸先生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ PPスライド11と12について。 実践例→ものによっては、①と②の間くらい方法に入ってくるかもというとらえ方ができる。分科会の色をグラデーションにするとよい。 ・ TCCカードについて。具体的に実践例を入れてもよいのでは。 各分科会での提案について。PRの量をどれくらい取り入れたらよいのか。全体で共有した方がよい。→(研推より)スライドは基本1枚でお願いします！
	Cグループ(本田先生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な取り組み例をもっと増やしたい。普段の授業での取組、委員会での取組など。 ・ 指導案は4枚はしんどい。A4表裏で2枚が希望。 →(研推より)参会者に授業の意図がちゃんと伝わりつつも、授業準備に注力できる形を提案していきます。 ・ 分科会で使用されている「場面」という言葉の設定がしっくりくるのか。場面という言葉は、表現する場というイメージが浮かぶ。学びが始まっていく場が場面になるのでは。→方法との対義語は目的。(中島先生)
	Dグループ(松家先生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な取り組み例をもっと取り上げたい。 ・ 発表に至った経緯について、様子の写真や動画があるとよいのでは。 ・ どの分科会の授業を見に行くかを決める際に、各分科会のPRをもっと分かりやすく作ると参会者がどの授業を参観したいのか決めやすいのでは？
	Eグループ(松澤先生)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案は2ページが良いのでは。紀要の際に、もっとページ数が増える。ページ数を予め明確にすることが必要。 ・ ③分科会について。やることが抽象的になるのでは？ベン図でも表せるのでは？ →③分科会では、「出会い」「仕掛け」。分科会の四角の中の文言は残していきたい。波及効果が全体として見られる図にしたい。③どんなことに注力していくのか。みんなで考えていけたらよいのでは。(中島先生) →全体会后に第3分科会で話し合っていたいただいた結果、うっすらと分科会の位置づけが見えてきました。後日、全体に向けてお伝えする時間をとります。
4. 事務連絡Ⅱ(研究主任:中島)	
	<ul style="list-style-type: none"> 1、スケジュール確認。リーフレットや指導案作成、プレゼン準備など。作業部会の方も分担しながら進めていきたい。 ・ 分科会手立てこんなことが言えるのではないか？

- ・分科会提案の準備（基調提案→分科会提案→分科会協議）
 パワーポイントだけでなく、劇など別の方法での発表でもよい。
- 2、予算（別紙参照）
 - ・別紙でどれくらいの予算なのかを確認してください。
 - ・自校印刷の方が安い場合もあるので、研推で検討していく。
- 3、C授業について
 - ・A授業、B授業以外の授業。ICT中心でなくても。5分程度でもよいので、お互いに見に行けると良い。
- 4、確認事項
 - ・掲示物などの人権的にアウトのラインは？
 - ・キーボー島などの名前をそのまま載せてよい？
 - ・外部ウェブサイトの扱い。授業で使用してよい？
 - ・市教委とのやり取りについて→第1弾の返事がきました。後日お伝えします。

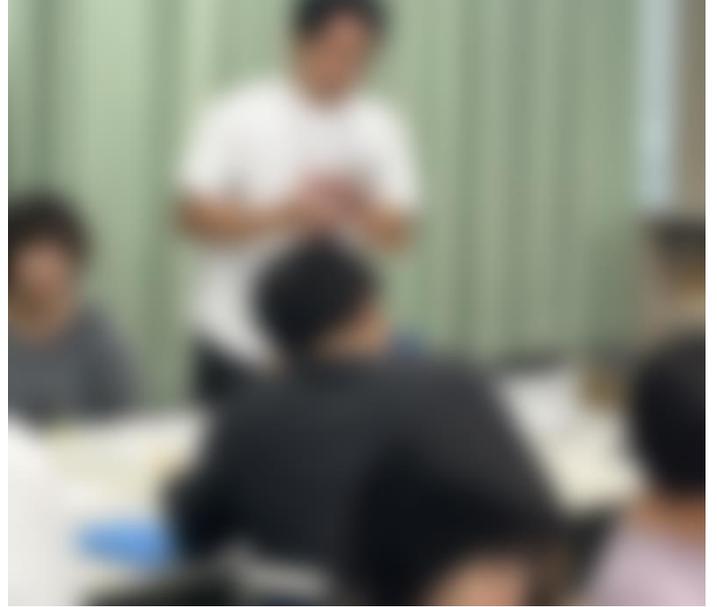
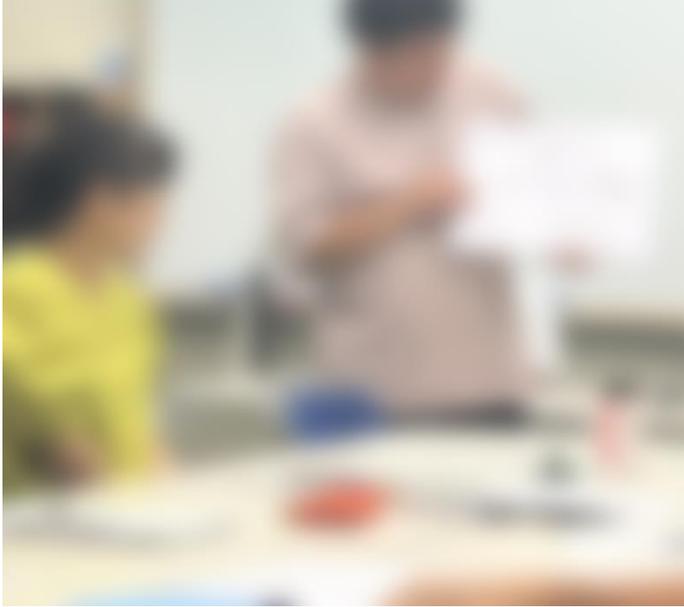
5. 終わりの言葉(副校長先生)

- ・今日の全体会の内容がとても素晴らしく、時間があっという間に過ぎてしまったという印象。
- ・本日の全大会で、当日のイメージが膨らんできたのではないか。
- ・参会者が置き去りになってしまうような受け身の研究発表会ではなく、みんなと作り上げる研究発表会になればよいと思う。
- ・参会者が視点や問題意識をもって参加してもらおうというところがよいと思う。
- ・参会者がその場で意見が言えるような、双方向型の発表ができるとうよい。その方が、我々の成果が広がっていくのかなと思う。

**いよいよ勝負の2学期がスタート！
研究もまとめの時期に入っていきます**

**全体会での活発な議論、
2学期のよいスタートがきれましたね！
先生方ありがとうございました！**

日々の実践からどのようなことが言えるのか？分科会ごとの提案内容を、明確にしていきましょう！



掲示物などの御準備も

ありがとうございます。

2学期も様々な行事もあり

忙しいですが、引き続き御協力を

よろしくお願いいたします！

